

# ロボット白書からのメッセージ

## 副題：社会を変えようとするとき、そこにロボット技術がある！

- 様々な製品やサービス、日常の暮らしや業務、生活環境、街や地域社会などを「**便利で快適に**」するには、「**賢い機械で自動化(賢く自動化≒ロボット化)できないか**」というユーザーの声、協力が不可欠。
- **ロボット技術は**、新しいビジネス・生活・社会を創る「**橋渡し・解決策・ヒント**」。皆が「**ロボット化できないか**」と考えることから、ロボット技術の普及が始まる(ロボット技術は一部の専門家のものではない)。
- (製品、サービス、生活や地域社会等の)「**ロボット化**」によって**社会・経済を発展させよう!**

### 【第1章(基本情報)】

ロボットの定義、歴史、要素、事例等の**基本情報**  
(**ロボットを「利用する側」の視点が重要**)

- ロボット技術の応用範囲は多種多様(医療、介護、交通等)にあり、ロボット技術は応用分野の発展や価値向上に寄与。
- ロボットに関わることで社会を発展させていく関心・意図を持つ人々のコミュニティを育てることが今後の課題。

### 【第3章】

現状、日本は「**産業用ロボット大国**」である。  
しかし、その課題は？期待は？未来は？

- 国内外の市場・技術の動向、先進国との技術競争と新興国との価格競争等を解説し、競争力強化策等を記述。
- 今後、新用途開拓、各技術の向上や知能化(自ら判断して動作)、SI(System Integration)や教示の高度化等が重要。

### 【第5章】

**フィールドロボット**は、社会を創る**業務用の有望分野**(インフラ、土木建築、災害対応、農業等)

- 今後の市場拡大(インフラ保守、プラント保守、土木建築、農業、災害、宇宙、海洋等)が期待される分野。
- 屋外や過酷な環境、緊急時の使用が多く、技術開発や標準化、経済性、利用環境整備等の課題が多く残されている。

### 【第2章(周辺情報)】

ロボット利用の意義、必要性、取り巻く環境等の**周辺情報**(産業、展示会、地域活動、学会、規格等)

- 参考情報の入手に役立つ、ロボットに関わる各種情報を紹介。海外の事例やロボットの導入ポテンシャル等も紹介。
- 高齢社会、災害に強い社会、科学フロンティア追求にロボット技術が中核になり得る。この点ではロボット教育も重要。

### 【第4章】

身の回りの様々な不便、無駄等は「**サービスのロボット化**」によって改善される可能性あり

- 生活に関わる製品やサービスの「ロボット化」をビジネスモデルや技術的観点から豊富な事例、関連制度等とともに紹介。
- 今後、顧客ニーズをロボット技術とビジネスモデルで解決し、顧客価値の拡大を図る「ロボット化産業」が重要に。

### 【第6章(将来のあるべき姿)】

将来像の**バックキャスト的議論**(サービス主導のロボット設計、街作り、制度設計整備、国際競争等)

- ロボット技術を組み合わせれば、社会的課題の解決につながる訳では無い(未来像と必要な技術からのBackcastが必要)。
- 技術者の街づくり参加等、社会問題解決の歯車としてロボット技術が入り込むことがロボットの新しい社会実装プロセス。